

様式3 指定管理業務 事業評価書（市及び指定管理者作成）

令和3年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	幸手総合公園外6公園
施設所管課	建設経済部 都市計画課 教育委員会 社会教育課
指定管理者名	幸手ハピネスクリエーション共同事業体
指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日（3年目）

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の 確認	1 施設全般管理運営に関する業務			
	(1)職員体制	基準に基づき、適正な人員配置がなされたか	3	3
	(2)職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	3	3
	(3)利用の促進	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	4	3
	2 施設利用に関する業務			
	(1)利用状況	利用者数・稼働率等は、適正な水準であるか ※1	4	3
	(2)利用料金	利用料金の設定、徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	3	3
	3 保守点検並びに清掃等業務等			
	(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	3	3
	(2)清掃・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理業務が適切に行われたか	3	3
	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	3	3
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	4	3
	4 事業の実施に関する業務			
	(1)指定業務	基準に基づく指定業務が適切に行われたか	3	3
	(2)自主事業	基準に基づく自主事業が適切に行われたか	3	3
	5 個人情報の取扱い	個人情報の取り扱いが適正に行われたか	3	3
	6 管理目標	設定目標に対する結果は妥当であるか ※2	4	3
	7 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保されているか 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	3	3
	8 その他			
	(1)記録管理	業務日誌や点検・修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	3	3
	(2)経理	経理処理が適切に行われたか	3	3
	(3)意思疎通	市や関係機関との連携が適正に行われているか	3	3

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱサービスの質の評価	1 利用者満足度	利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	3	3
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	3	3
	3 運営業務	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	3	3
	4 指定事業・自主事業			
	(1) 指定事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	3	3
	(2) 自主事業	実施された事業内容は、質の高いものであったか	4	4

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ安定性の評価	1 事業収支	事業収支は妥当であるか ※3	3	3
	2 経営状況分析指標	経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	3	3
	3 団体等の経営状況	団体等の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※5	3	3
合計得点		Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの評価点数の合計(得点/満点)	80 100	76 100

総括	指定管理者の自己評価	・コロナウイルスの影響で、上半期自主事業が計画通りにいかない時期がありました。緊急事態宣言解除後は、様々な自主事業を開催し、利用者数を増やすことができました。 また、公園にて謎解きゲームやお祭りなどを開催し、施設を知らなかった方も利用を増やすことができました。結果として昨年度を大きく上回る運営結果(利用件数・利用料・利用者数)となりました。 特記事項としては、ベナン共和国東京オリンピック陸上競技800メートル代表ノエリー・ヤリゴ選手と幸手市かけっこクラブとのビデオレターでの夢相談事業を実施できたことは、とても貴重な体験となりました。地元の子供たちが憧れるスポーツ選手との交流はとても良い事業ができたと感じております。 また、B&G財団の評価も3年連続『特A』評価を頂けたことで自信に繋がっております。園地内の施設維持に関しましては、毎年気候が変化していくため、決まった作業を同じ時期にするのではなく、その時の変化を見極め合った対応が求められる中で日常的な巡回を通じ、従業員間での情報共有を図り、適切な作業実施が出来る様に取り組みしました。運動施設においても利用者や競技団体の意見・要望に耳を傾け、安心安全と感じて頂けるような施設維持管理業務に努めました。 また保守点検業務においても関連法規に基づく作業を遵守し計画通り完了しました。 その他に、昨年同様に火災や地震など緊急時の際に、落ち着いて対応できるように、消防訓練や心肺蘇生法・AEDを使用した研修を実施したことや、業務水準向上のため、休館日を利用し、業務研修や自主事業企画を全スタッフで行ってきました。 施設長期維持のため、軽易な修繕補修等も実施しました。 最後に、来年度も引き続き利用者数向上の為、スタッフ一丸で業務に取り組んでいきたいと思っております。
	施設所管課の評価	・年間を通して、適切な管理運営を実施できた。 ・コロナ禍でも感染防止対策をしつつ、自主事業等のイベントを適宜開催し利用者を維持できた。 ・B&G財団が開催する事業やイベントに多数参加し、『特A』評価(3年連続)を取得できたことは評価できる。

総合評価	区分	A
	特記事項	

《評価区分》

評価点数	4	協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
	3	協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である
	2	協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある
	1	協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である
総合評価	S	極めて良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上であり、かつ4が2つ以上である)
	A	良好に施設を管理している。(評価点数がすべて3以上である)(上記以外)
	B	概ね適正に施設を管理しているが、内容の一部に課題がある。(評価点数に2が含まれている)
	C	改善を要する管理運営状況である。(評価点数に1が含まれている)